

G7香川・高松情報通信大臣会合で
HTBが総務省と連携し「コンテンツ協力」
「テレビ字幕自動翻訳システム」と「4K映像」のデモ展示

HTB 北海道テレビ（本社・札幌）はG7伊勢志摩サミット（5月26日～27日）に先立ち、4月29、30日に香川県高松市で開催された「G7香川・高松情報通信大臣会合」の情報通信技術（ICT）の特別展示会場で行われたデモ展示で、自社制作の番組と映像コンテンツの提供協力を行いました。会場には、総務省の施策に関係した12の企業や団体から、最先端のICT技術のブースが設けられました。

全体テーマの一つ、「言葉の壁をなくす」のコーナーでは、「多言語字幕翻訳システム」のデモ展示が行われ、HTBは全国的に番組販売されている人気番組「おにぎりあたためますか」を映像素材として提供しました。このシステムは、超小型のセットトップボックスを使って地上波デジタル放送の放送番組字幕の情報を、リアルタイムで英語・中国語・韓国語に翻訳し、その3言語のうちの必要な言語を選択してテレビ画面に表示するものです。

また、テーマ「日本の魅力を発信する」のコーナー内の地上波放送局ブースでは、4Kの映像コンテンツが上映されました。伊勢志摩サミット開催エリアの、地元伊勢神宮の自然や神事、動植物などの4K映像とともに、今年2月のさっぽろ雪まつり「雪のHTB広場」のプロジェクトマップをHTBが4Kで撮影した映像も上映されました。この映像は、3月に開業した北海道新幹線の原寸大の大雪像に投影したものです。

特別展示会場には、G7の各国大臣や政府関係者、メディアや学生など幅広い人々が訪れ、日本の最先端のICTを知るブース展開となりました。